ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

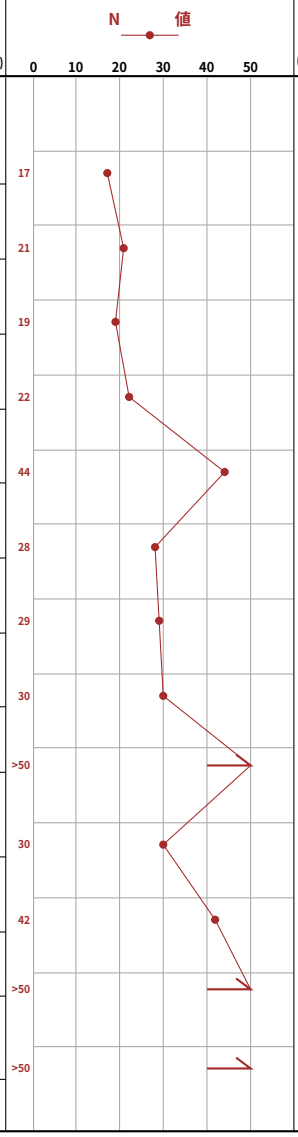
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	Br-3	調査位置				北　緯	36 ° 47 ' 39.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2010-09-10 ～ 2010-09-15	東　経	140 ° 15 ' 04.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	239.72 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 5.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	13.43 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	239.32	0.40	0.40		表土 (SF)	黒褐			有機質で植物根を多量混入、粘性土主体		
1	238.32	1.00	1.40		砂質粘土 (CHS)	褐		非常に硬い	全体に砂質粘土でブロック状に砂を混入 含水中位		
2 3 4	234.82	3.50	4.90		強風化岩(砂質粘土) (WR)	褐		非常に硬い	風化、粘土化、細粒化進みコアは砂質粘土状 部分的に握固結している 強風化し、全体に粘性土を主に砂や礫を含むコア状況 深度4m下方で砂や礫の含有やや増す		
5 6	233.62	1.20	6.10		強風化角礫岩(砂礫) (Br)	暗褐	密な		含水少ない コアは砂礫状		
	233.02	0.60	6.70		強風化角礫岩(粘土質礫) (GCBr)	暗褐	密な		コアは角礫混じり砂状		
7 8 9	229.72	3.30	10.00		強風化角礫岩(砂礫) (Br)	暗褐	密な		6.7～9.6m コアは砂混じり角礫状 9.6～10.0m 硬質砂岩の巨石～転石である コア長15～20cm(総長40～50cm)		09/13 8.75
10	228.82	0.90	10.90		強風化角礫岩(粘土質礫) (GCBr)	暗褐	密な		コアは礫混じり砂状 固結度は高く含水少ない		
11 12 13	226.29	2.53	13.43		強風化角礫岩(砂礫) (Br)	暗褐～暗灰	非常に密な		コアは含礫部では棒状となるがマトリックス部では礫状となる 礫は砂岩・頁岩礫が多く花崗岩類も混じる 全体に風化土的で、砂礫分が所は砕けやすく、粘土分が優勢するとコア状 コアは容易に砕け礫～砂状となる		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	5	6	6	17／30	17
1.45					
2.15	7	7	7	21／30	21
2.45					
3.15	6	7	6	19／30	19
3.45					
4.15	7	7	8	22／30	22
4.45					
5.15	10	15	19	44／30	44
5.45					
6.15	10	9	9	28／30	28
6.45					
7.15	9	9	11	29／30	29
7.45					
8.15	8	9	13	30／30	30
8.45					
9.15	18	32／7		50／17	>50
9.32					
10.15	10	10	10	30／30	30
10.45					
11.15	15	14	13	42／30	42
11.45					
12.15	30	20／7		50／17	>50
12.32					
13.15	10	15	25／8	50／28	>50
13.43					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/11
						09/13
						09/15